

日本骨髄バンクの現状（平成 26 年 8 月末現在）

	7 月	8 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	1,926	1,795	446,454	619,086
患者登録者数	282	284	2,691	42,741
移植例数	125	112	—	17,312

■ 8 月年齢別ドナー登録者数（現在数）

10 代	2,871 人
20 代	71,416 人
30 代	148,042 人
40 代	177,664 人
50 代	46,461 人

■ 8 月の 20 歳未満の登録者 65 人

注) 平成 24 年 7 月より集計方法が変わりました。

■ 8 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／665 人、献血併行型集団登録会／1,025 人、集団登録会／76 人、その他／29 人

■ 8 月末までの末梢血幹細胞移植（PBSC T）累計数：66 件

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 「骨髄バンク推進全国大会 2014」が 9 月 13 日に福島市で開催されました

「骨髄バンク推進全国大会 2014」が、9 月 13 日（土）に、福島市の福島テルサにおいて開催され、約 350 名の方々が来場しました。

今回のテーマは、「若者よ!あなたの勇気が命をつなぐ」。第一部の式典では、来賓の挨拶と感謝状の贈呈が行われた後、小寺副理事長より事業報告を行いました。第二部では、福島県の震災復興の状況等について報告がありました。

第三部では、早稲田大学との産学共同プロジェクト「プロフェッショナルズ・ワークショップ」の学生から、若年層のドナーリクルートについての施策が発表されました。また、骨髄バンクを介して移植を受けた元患者の渡辺陸さんと南出弦さんが紹介されました。最後に福島東高等学校合唱部による合唱に続き、「翼をください」を全員で合唱して幕を閉じました。

来年の骨髄バンク推進全国大会は、2015 年 9 月 12 日（土）に高知市の高新 R K C ホール（高知新聞放送会館内）において開催する予定です。

2 平成 27 年度予算概算要求の概要について

平成 27 年度の移植対策関係予算の概算要求の概要が厚生労働省移植医療対策推進室より示されました。その中で、「造血幹細胞移植対策の推進」については 24 億 9,000 万円で、前年 20 億 3,000 万円に比較して 4 億 6,000 万円の増額となっています。

特記すべき事項は、「造血幹細胞移植関連情報システム一元化経費」として新たに 4 億 1,900 万円が計上されたことです。これまで別々であった骨髄バンクと臍帯血バンクの情報システムを再構築し、一元的な患者登録の実現化を図るものであり、システムの詳細については関係者によって今後検討が開始されるとのことです。

また、いわゆる拠点病院の整備として、「造血幹細胞移植医療体制整備事業費」が 2 億 6,200 万円計上され、前年比で 9,800 万円の増額となりました。

なお、「骨髄移植対策事業費」、いわゆる骨髄バンク運営費については 4 億 5,500 万円計上され、前年比で 500 万円の減額となっています。

3 骨髄バンク推進月間について

10 月は、骨髄バンク推進月間です。各地で講演会やドナー登録会が予定されています。

新たに日本骨髄バンク普及大使の山本雅也さんがパーソナリティーを務める、コミュニティFMのラジオ番組「キズナの温度」が、10月4日（土）からスタートします（毎週土曜日、23時～23時55分放送）。同番組の「いのちの感謝状」のコーナーでは、骨髄バンクを介して移植を受けた元患者さんの感謝の手紙を紹介し、さらに、各地のボランティアさんの活動も紹介する予定です。

また、BS日テレでは10月4日（土）22時54分から、「骨髄移植がつないだ命のリレー（仮）」と題した5分間の広報番組を制作・放映する予定で、骨髄バンクニュース44号で紹介された元患者の南出^{ゆづる}弦さんが出演します。南出さんは、8月に第二子が誕生したばかりで、ご家族4人で出演します。また、埼玉県在住の黄木菜々絵さんがドナーとして骨髄提供した時の思い出を語ります。

4 スポーツクラブの「ティップネス」が骨髄バンクを支援

大手スポーツクラブの「ティップネス」では、本年7月から全61店舗のフロントに骨髄バンクのリーフレット「ギフト・オブ・ライフ」を設置し、骨髄バンクの普及啓発活動をご支援いただいています。当法人のパートナーシップ企業として、ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

5 骨髄ドナー手術給付金申請の専用証明書について(ソニー生命)

現在16社の生命保険・損害保険各社、共済互助会が、休業補償のないドナーへの経済的支援と社会貢献の見地から、ドナー給付金を支払う個人保険を販売しています。

10月2日から、ソニー生命保険株式会社の商品において、当法人発行の専用証明書のみで給付金申請手続きが可能となりました（プルデンシャル生命保険株式会社、日本生命相互会社、損保ジャパンD I Y生命保険株式会社に続いて4社目）。これにより、申請にあたってドナーが採取施設発行の診断書を取得する必要がなくなり、時間・金銭両面での負担が解消されます。

ドナーが当法人の専用証明書の発行を希望される場合は、担当コーディネーターを通じて、地区事務局経由でドナーコーディネーター部にご連絡ください。

6 韓国骨髄バンク（KMDP）設立20周年記念シンポジウムへの参加について

8月29日・30日、KMDP設立20周年記念式典が韓国・釜山市において開催され、当法人からは、国際委員長の岡本真一郎先生（慶應義塾大学病院）と、一戸辰夫先生（広島大学病院）が参加されました。造血幹細胞移植に関わる医師を中心に、韓国内外から多くの参加者があり、大変盛大な式典となりました。式典のシンポジウムでは、岡本先生が座長となり、一戸先生の造血幹細胞移植のHLA適合性に関する講演や、海外バンクの演者によるアジア諸国における非血縁者間移植の現状についての講演が行われました。

2014年8月末時点で、JMDPはKMDPに対して、179件の提供と、20件の受領があります。KMDPからは今後もJMDPを含めた海外バンクと協力し、国内外患者救命のため努力していきたいとのコメントがありました。



7 当法人の会議等開催予定

◆会議の傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	9月26日(金) 17:30～ 廣瀬第1ビル2階会議室
臨時理事会	公開・一部非公開	10月24日(金) 17:30～ 廣瀬第1ビル2階会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

8 デング熱の国内感染事例について(注意喚起)

国内で 70 年ぶりにデング熱感染症例が報告されました。当法人では、厚生労働省から通知を受け、コーディネーター進行中で、既に最終的な候補として選定されたドナーの方には、当法人から注意喚起のお手紙をお送りしました。また、2 週間以内に造血幹細胞採取(D L I 含む)を予定されているドナーの方には、担当コーディネーターからヒアリングを行い、移植施設側に情報提供することを開始しました。特に、採取前1 カ月以内(D L I 含む)のドナーの方においては、蚊との接触を避けていただきますようご注意願います。

9 ドナー適格性判定基準の改訂について<医師の方へ>

ドナー安全委員会において検討した結果、以下の基準が変更となりましたのでご報告します。

【先天性心疾患】

以下の先天性疾患は、無症状、あるいは治療の必要がない場合も不可 基準 : D

- ・心房中隔欠損症(A S D) ・心室中隔欠損症(V S D)
- ・動脈管開存症(P D A) (ボタロー管開存症)

《追加》

ただし、自然閉鎖は要検討 基準 : B

また、ドナー適格性判定基準 第一版(2010年10月発行)以降に追加・修正となった基準を追加した、ドナー適格性判定基準 第二版を発行します(上記変更も含む)。製本したものは、来月のマンスリーJMDPと共にお送りいたします。第二版については当法人ホームページの、医師の方へ>調整医師・採取医師の方へ>ドナー適格性判定基準でもご覧いただけます。

10 当法人が貸与している携帯電話の機種変更について<コーディネーターの方へ>

9月1日付けで対象の方にご案内しておりますが、最終機種変更から4年以上経過している a u の携帯電話について、一斉機種変更をします。切り替え作業終了後(切り替え作業は a u ショップに依頼できます)、これまで使用していた携帯電話は着払い伝票で、9月末までにドナーコーディネーター部宛に返却をお願いします。

ご不明な点等ございましたらドナーコーディネーター部までお問い合わせください。